

| 活動タイトル | DVや虐待家庭で育つ・育った子どもと親へのケアと支援パートⅢ | 団体名 | NPO法人女のスペース・ながおか | | |
|--|--|--|---|----------------------------|-----------------|
| <p>1年間の活動 (アウトプット)の目標 (事業全体)</p> | <p>2018年9月1日(土)～2019年8月31日(土)に【フェミニストカウンセリング】「トラウマケアカウンセリング」の提供 【子どもと親への自律・自立支援講座in新潟】 ①2018年9月17日(祝月)「子どもと親の絆を深めるCARE講座in新潟」(講師：加茂登志子) ②2018年11月11日(日)「子どもの声を聴く」(講師：井上摩耶子) 【支援者養成ブラッシュアップ連続講座】 2018年10月28日(日)・11月18日(日)・11月24日(土) 連続3回 (講師：森本武志、福田由紀子、友田明美) 【お楽しみフォローアップ講座とエンパワメント支援】 2018年12月2日(日)・2019年1月20日(日)・3月24日(日) 連続3回 (Xmasクッキング、ヨガ・ソシオエステ、レザークラフト)</p> | | ■ 活動風景 | | |
| <p style="text-align: center;">■ 活動報告</p> <p>I. 相談支援活動：1,516件 実質人数173人</p> <p>II. 子どもと親への自立・自律支援活動「CARE」講座：参加者24人 「子どもの声を聴く」講座：参加者35人 「支援者養成ブラッシュアップ」講座：参加者235人</p> <p>III. お楽しみフォローアップ講座・エンパワメント支援 3回実施、参加者25名、スタッフ17名 (Xmasクッキング・ヨガとソシオエステ・皮工芸、母と子のグループセッション)</p> <p>IV. フェミニストカウンセリングの提供 ト라우マケア：213回 実質人数27人</p> | <p style="text-align: center;">■ 1年間の目標に対する達成状況</p> <p>I. 相談支援活動 目標1,500件→1,516件を達成</p> <p>II. 子どもと親への自立・自律支援活動「CARE」講座 広域ネットワーク事業として、新潟市のNPO法人との協働展開により実施。当法人の企画力・ネットワーク力の提供によるコラボレーションを達成 各講座 目標@40人×2回+@80人=160人に対して184%の実績</p> <p>III. お楽しみフォローアップ講座・エンパワメント支援 ①親6人、子5人、スタッフ6人計17人 ②親3人、子2人、スタッフ6人計11人 ③親6人、子3人、スタッフ5人計14人 合計42人</p> <p>IV. フェミニストカウンセリングの提供 ト라우マケア ・対前年度：件数：200%以上のアップ (203/102) ・実質人数：200%近いアップ (27/14人)</p> <p>V. その他 ホームページの開設 (2019年4月1日) による情報発信の強化</p> | <p>反響の大きかった友田明美氏講演会</p> |  | | |
| <p style="text-align: center;">■ 1年間の活動のまとめ</p> <p>I. 相談支援活動 年間相談件数 1,516件</p> <p>II. 子どもと親の自律・自立支援活動 当法人提携NPO法人新潟FCセンターまどとの協働と新潟市の後援を得てCARE講座 (参加者25名) と「子どもの声を聴く」講演会 (参加者36名)の開催した。</p> <p>III. お楽しみフォローアップ講座 3回開講 母親15名、子ども12名、スタッフ15名 計42名の参加を得た。</p> <p>IV. フェミニストカウンセリングの提供→年間提供件数213回</p> | <p style="text-align: center;">■ 事業を通じて得られたノウハウ</p> <p>I. ブラッシュアップ講座を通じて相談に携わる方々のスキルアップがはかられた。 II. CARE講座の実践内容を具体的な対応表として冊子化し、育てにくい子への対応を分かりやすくした。 III. 親子一緒に時間の過ごし方や仲間との関係づくりに効果があった。 IV. アセスメント実施によって、初回時からの回復状況が数値化され、相談員間の情報共有や相談者との認識共有を客観的に示しやすくなった。</p> | <p style="text-align: center;">■ 実施した人材育成策</p> <p>・支援者養成ブラッシュアップ講座を3回開催し、235名が参加した。特に友田明美さんの講座は、最新の脳科学研究成果が示され、弁護士、医療関係者の関心も高く、調停や裁判の場での有効活用が期待される。 ・CARE講座 24名。各グループ毎にファシリテーターを配置し、ロールプレイ等を交えた形式で実施し、子育てに困っている養育者への実践トレーニング講座 (@2h×2コマ) として提供した。 ・「子どもの声を聴く」講座を実施し、35名が参加した。逆境的环境下で育つ・育った子どもの声を聴く場や、聴ける支援者の養成を行った。</p> | <p style="text-align: center;">■ 活動成果のアピールポイント (自由記入)</p> | | |
| | | | <p>この1年間の活動を通じて</p> | <p>DVや虐待への対応啓発と回復支援の目標</p> | <p>を達成しました。</p> |
| | | | <p style="text-align: center;">■ 受益者の変化 (効果測定結果等)</p> | | |
| | | | <p>①ブラッシュアップ連続講座：通し受講者25名の参加者満足度の平均は5段階評価で4.6点となった。(参加者アンケートより：当事者が抱える生き難さの根底にあるものが何かを知ることから支援が始まるのだと感じた。また、そのためにはジェンダーの視点が必要なのだ改めて確信した。) ②CARE講座：25名の参加者の満足度は全体的に高い。(参加者アンケートより：2歳7か月の娘に怒ってしまう毎日で、なんとかしたいとこの講座に参加した。5分だけは特別な時間をとり実践していこうと思う。) ③「子どもの声を聴く」講座：36名の参加者の満足度は全体的に高い。(参加者アンケートより：DV家庭で育った子どもや虐待を受けた子どもたちの心の葛藤が思われ、やはり子どもの声を聴く存在や対応の必要性を痛感した。)</p> | | |